

認定NPO法人 かものはしプロジェクト
2015年度年次報告書

2015 2016

Kamonohashi-project Annual Report

子どもが
売られない
世界は
つくれる



子どもが売れない世界をつくる
認定NPO法人 かものはしプロジェクト

子どもが売られない 世界はつくれる

その想いは、子どもが売られない世界をつくることにつながっているか。その活動は、一人ひとりの被害者をほんとうに救うことができるか。

私たちがものはしプロジェクトは、そのことを常に考え続けてきました。

子どもが売らない世界をつくる。

14年前に代表の村田が強く願ったことがかものはしプロジェクトのはじまりです。

多くの人たちと出会い、ともに悩み、一歩ずつ、とにかく前へ進んできた私たちの挑戦。

そしていま、インドとカンボジアを起点として社会を大きく動かそうとしています。

築いてきた確かなものが、

未来を変えていこうとしているのです。

For a world without
child sex trafficking and
sexual exploitation.

We are Kamonohashi Project

「子どもが売られない世界はつくれる」
そう胸を張って言えるほどの確かなものを感じた
私たちのこれまでの想いと決意を
ここにご報告します。



かものはしプロジェクトは
「子どもが売られない
世界をつくる」ために、
14年前カンボジアから歩み始めました。
最貧困家庭の暮らしを守る
コミュニティファクトリー事業や
孤児院支援、警察支援を通し、
カンボジアで「子どもがだまされて
売られてしまう問題」の
解決の道筋を作ることに
大きく努力しました。



2015年のコミュニティファクトリーでミシンチームのスタッフに指導するブッティと青木。設立当初は日本人スタッフが指導にあたることも多かったが、今では、カンボジア人スタッフが、女性たちを見守りながらも指導にあたれるように。ファクトリーとともにスタッフも成長している。

コミュニティファクトリーの前で。カメラを向けると恥ずかしがりながら談笑するスタッフとチームリーダー。女性の成長も、良い商品も、良い関係からうまれるとかものはしは信じています。



一方、「子どもがだまされて売られてしまう問題」はカンボジアだけでなくさまざまな国で起こっており、かものはしは2012年に、特に問題がひどいインドへと活動のフィールドを広げました。

2017年度に、コミュニティファクトリーはかねてからの目標であった自立化を実現します。



そのインドでは、
カンボジアで積み重ねた
経験を活かし、
被害者の回復を支援し、
彼女たちと一緒に

正義と権利を取り戻すための
仕組み作りを、
様々な形で実施してきました。
2015年度からは、
人身売買を取り締まる
新法の制定が始まりました。
これは、インドで
「子どもが売られない世界」を
実現するための
大きな一歩です。

子どもが売られない 世界をつくる

For a world without child sex trafficking
and sexual exploitation.

We are Kamonohashi Project

この取り組みを

きちんと進めることで、
2020年までにインドで

「子どもが売らない世界」を
実現し、この問題が
世界からなくなるまで

私たち歩み続けます。



カンボジア事業の自立化、

そしてインドでの

人身売買ビジネスの

根幹を壊す新しい動き。

私たちの挑戦が形になってきた

大きな変化のある1年でした。

Highlights from 2015-2016

2015年度の主な成果





Kamonohashi in
Cambodia

2015-2016

カンボジア事業部

カンボジアの自立を意思決定した2015年。
大きく変化に舵を取り、
コミュニティファクトリーの第2章が始まります。

コミュニティ

ファクトリーの

自立と決断

何もないところから始めた
コミュニティファクトリー。

〔対談〕

Round Table Discussion

2008年から始めたコミュニティファクトリー。

カンボジアでの「子どもが売られる問題」が落ち着いてきた2年前から、

今後の方向性や、どうやってカンボジア社会に

貢献していくかを議論し続けました。

そして、青木がコミュニティファクトリーとともに

かものはしからの独立を決意しました。

どのような経緯で今回の決断に至ったのかを、

対談でお伝えします。



共同代表
村田 早耶香
Sayaka Murata



共同代表
本木 恵介
Keisuke Motoki



共同代表
青木 健太
Kenta Aoki

青木.. 2002年にかものはしプロジェクトを立ち上げて、初めての現地事業であるパソコン教室をカンボジアのブノンペンで始めたのが2004年。ストリートチルドレンや孤児院出身の子どもたちを受け入れて教室をスタートさせたら、ホワイトカラーハーの仕事に就く人や海外の大学に進学する子どもも出てきた。一定の成果を収めるとはできたと思うけど、僕たちが考える「子どもが売られる問題」をカンボジア社会から根本的になくすためにはどうすべきかというのは、パソコン教室がうまくいつているときから議論していたよね。

再度カンボジア社会の問題を分析してみると、子どもの人身売買が起っている理由として、農村部の貧困といった大きな問題があった。実際に農村に行くと今にも崩れ落ちそうな家に暮らす家族がたくさんいる。当然農村には満足な仕事はなく、日雇いの仕事くらいしかない。その中でも、やつと仕事を見つけたと思ったら「いい仕事を紹介する」とプローカーにだまされて、売春宿に売られてくるといったケースが圧倒的に多い。この問題を解決するために私たちは何ができるのか、と行動を起こしたのがコミュニティファクトリーの始まりだった。

本木.. 最初は都市部で何かプロジェクトを始めようか、という話もあつたけど、どうも直接的要因になつてている農村で女性が自立

するための仕事をつくることが、この問題を解決するアプローチとして良いということがわかつてきました。そこでカンボジアの中でも貧困州のうちの一つであるシェムリアップ州で、いくつかの地域や村を地道に回って、村長さんや村の方たちと話した。そこで、女性の職業訓練を是非とも応援したいと言つてくださる村長さんと出会い、土地も無償で貸してもらえることになった。自分たちの活動をこんなにも心待ちにしてくれる人がいる。頑張らなくちゃ。そう決意を新たに、コミュニティファクトリーがスタートしたね。

青木.. ほんとうに全く何もないところから

のスタートだった。ただせっかくやるのでれば、女性が自立して仕事をしていくためのスキルを身につける学びの場とするだけではなく、きちんとビジネスとして収益を上げられるモデルを考えないといけないと思つていた。市場を調査してどんな商品だつたら売れるのか、また彼女たちでもつくることができるのかを探つていた。また児童買春の被害に遭いそうな人をなるべく受け入れるために、村の家庭を全部訪問して、年齢や家族構成、経済状況などをヒアリングし、受け入れ態勢を整えていった。

村田.. こうやつて当時のことを話していると立ち上げが順調に進んでいたように見えるけど、実際は大変だったよね。

本木.. ものづくりを経験したこと勉強したことそもそももちろんなかったから、マーケッ



(1)2009年当時のコミュニティファクトリーで、商品を作っている様子。(2)女性たちとい草染めにチャレンジしている青木。(3)ファクトリーへの希望を女性たちからヒアリングする村田。(4)2008年、当時建設中のコミュニティファクトリー。土地を貸してくださる村長さんのご好意のおかげで工房を建てることができた。(5)2016年現在のコミュニティファクトリー。2008年から比べると設備などが充実し、やっつきんとした工場と呼べるまでのものに。

ここはスクールインビジネス
という場。
その価値を發揮するため
行った地道な努力。

村田.. いざ実際に立ち上げて、動き出してからも大変なことの連続だったよね。

本木.. もう毎日困難の連続。商品が未熟なのはわかつていただけど、それ以上にまだ

トに出て、売られている商品を一つひとつ手にとることからスタートした。これはこういいう作りになつているのかと勉強するところから探つていくのがほんとうに大変だった。でも僕たちを信じて活動に応援してくれた村長さんが女性一人ひとりと話をしてくれて、そして女性たちが僕たちの話を真剣に聞いてくれて、働き始めてくれたときは心から嬉しかった。

青木.. でも、ものづくりの素人だったからこそ、できた挑戦だと思う。何もない状態からスタートするのは、普通に考えたら無謀すぎて、絶対に誰も実行しないこと。でも私たちはカンボジアの「子どもが売られる問題」をどうにかして解決したい、という強い想いがあった。その一見矛盾している構造がここまで事業を継続できた原動力になつていてるんだと思う。当時僕たちを信じて働きに来てくれた初年度の14名の女性がいてくれたからこそ、今があるんだと思う。

ビジネスとしてスタートしていなかったの
で、女性たちに資金もそんなに支払うこと
ができなかったことと、そもそも外に働き
に出たことのない女性に毎日働いてもらう
ことがとても大変だった。彼女たちに厳し
いことを言ってしまったとすぐに辞めてしま
う。かといってゆとりを持ってプロジェクト
を進めると商品の品質は上がっていないか
らかを立てれば、どちらかが成り立たな
い。そんな状況がすごく苦しかった。

青木.. その状況をどうにか打破しようと、
自分たちの商品が売られているマーケット
をみんなで見学に行つたこともあった。実
際に商品が売られているところを見ると、
彼女たちのモチベーションが上がっていくの
を十二分に感じられたよね。彼女たちの中
には、生まれて初めてシェムリアップに出て
きたという女性もいて、とても良い経験
だつたように思うし、働くための活力になっ
たという女性たちもたくさんいた。

それだけじゃなく、夕方になつてファク
トリ一がクローズしてから、彼女たちの両
親と一緒になつてアルコールランプを囲んで
会話をした。売春や出稼ぎという危険だけ
ど稼げるという道を安易に選ぶのではなく
く、自分たちの仕事をきちんと成りたさせ
るために仕事をつくるという価値観を伝え
るためにとにかく必死に、思いつく限りの行
動をしたと思う。

本木.. そんな試行錯誤を繰り返すごとに、

コミュニケーション&アクション 自立化における葛藤と決心。

本木.. 2006年から始めたファクトリー
経営が少しずつだけど軌道に乗り始めて
きて、少しずつ現地の状況も変わってきた

中、かものはしとしてカンボジアとどう関
わっていくのかという話が2013年ぐら
いから出てきた。というのも、私たちは『子
どもが売られない世界をつくる』という
ミッションを掲げている。カンボジアの児童
買春の状況が改善してきたのであれば、次
のフェーズに移行しないといけないのではないか。
そんな議論を重ねたよね。

村田.. この問題は理事会でも何度も議
論を重ねました。「かものはしプロジェクト
としてまずすべきことは何だ」「子どもが
売られない世界をつくるために、優先順位
をつけて事業を考えないといけないので
ないか」。たくさんの意見が出てきた。それ
はすぐに結論が出る問題ではなかった。し
かしインドの状況が変わろうとしている
今、かものはしとして決断していくなけれ
ばいけないことも事実でした。

青木.. 現地にずっといると児童買春の問題
は改善されてきたかもしれないけど、でも
貧困という問題はまだまだ確実に残ってい
る実感する。また、自分たちがもし撤退
して現地にビジネスモデルを移譲したとし
ても、果たして継続できるのかといった問
題がある。責任者として現地にずっといた



(1)工程ごとにチームが分かれ。どのチームにも信頼できるリーダーがあり、チームワークを高めている。(2)ミシンの工程はファクトリーの花形。一番スキルが求められるが、周
りの女性から憧れられるポジション。(3)カンボジア出張の際には村田もファクトリーや家庭に訪問し、現地の声を日本に持ち帰る。(4)ファクトリーのマネジャーと働く女性から
の声に対応する青木。できるだけ彼女たちの思いを汲み取るよう、心がけている。(5)女性たちが率先して行う栄養に関するワークショップ。生きる力をみんなで身につけていく。

(1)スタッフが働く女性の声を聞きファクトリーを少しずつ改善してきた。(2)ソーシャルワーカーと一緒に、働く女性の家庭訪問へ。両親にもファクトリーの想いを共有し、理解してもら
う。(3)女性たちは商品を作るだけでなく、マネジメントも行う。(4)設立当初、細部まで目が行き届かなかった商品のクオリティも、カンボジアでの最高品質と認定される
までに進化した。(5)本木もカンボジアに滞在していた時にはコミュニティファクトリー経営を担っていたため、働く女性といまでも親しい。

ここは働く場以上の価値を持つスクールイ
ンビジネスの場であること。つまり女性が自
立していくためのスキルを学び、磨いていく
場であることを自分たちがより強く自覚
していくようになってきた。だから普通だ
と女性が仕事に来なければクビになる場
合でも、私たちがバイクで家に迎えにいつて
一緒にファクトリーに行くといったことを
やっていた。私たちの目的は、かものはしが
主導でビジネスを成功させることができ第一目
的ではなく、彼女たち自身が仕事をする樂
しさを感じ、現地に根ざした継続していける
ビジネスモデルをつくること。始めた当初
からいつかは自立できるようしていかない
といけないと想いながらプロジェクトを進
めていた。

村田.. その甲斐もあって、立ち上げ当初か
ら携わってくれているチームリーダーやス
タッフの方たちの意識は確実に変わってきた
。品質に厳しくなり、自分たちの商品に
誇りを持つようになってきた。その変化は
とても頬もしく感じました。

青木.. 少しずつコミュニケーション&アクション
経営が進むようになつてきて、報酬はまだ
まだ満足ではないかも知れないけど、家族
の近くで働くことができる事が嬉しいと
いう声を聞くことができるようになったの
は、すごく嬉しかった。胸の奥から何かこみ
上げてくるものがあつたなあ。

僕にとって、カンボジアは思い入れが深く、
コミュニケーション&アクションの経営がかものは
しプロジェクトのビジョンと変わってきたか
もしれないといったからといって、離れると
いうことは簡単には考えられなかつた。何ヶ
月も一人で悩んだ。

村田.. もののはしの理事としては残るけれど、
でも職員としては、もののはしを離れて、
カンボジアに残るという決断に至つた理
由は何だったの?

青木.. 自分が本当に何をやりたいのかを考
えたときに、人が前向きに生きるための手
助けをしていきたいんだ、というところに辿
り着いた。それはこれまでの自分の人生を
振り返ったこともあつたんだけど、自分は
親から価値観を押し付けられることなく、
好きなことをやっていいよ、とある意味自由
に育ててもらった。だから自分で進み
たい道も探すことができたしやりたいこ
とものびのびとできている。素直に生きら
れるということは、本当に素晴らしいことな
んだ、と改めて思った。そんな風にファクト
リーで働く女性たちにも感じて欲しい。
ここで働く女性が前を向いて生きるサポート
をすることと、貧困という状況を少しでも
改善し希望をつくりたい。自分の中のビ
ジョンが改めて見つかつたことが、かものは
しを離れるという決断に至つた理由かな。

Interview

「彼女たちの大きな期待に応えられるように」

コミュニティファクトリーの経営メンバーの一人として

かものはしに参画しているブッティに

カンボジア事業の自立について、率直な想いを聞いてみました。



Suong Vuthik
スォン・ブッティ

今働いている女性たちの姿が頭に浮かんで、とても不安な気持ちでした。彼女たちは仕事を失うと感じるのではないか、かものはしで働くことについても心配でした。

そこから今までの道のりを経て、今は自立をどのように感じていますか？

話し合いやワークショップを経て、何のためにこのファクトリーをやっているのか、ということを強く認識することができました。だからこそ、みんなと一緒に頑張っていきたい、そんな風に思いました。また、私たちの決断ひとつひとつが、ファクトリーの将来に影響するということを実感しています。ただ時間が過ぎるのを待つではなく、ときには厳しくとも、前に進む決断をしなければなりません。難しく感じることもありますが、経営チームが次第に成熟してきているため、この人たとなら安心してやっていけると感じています。

一番最初にかものはしから自立すると聞いたときはどう感じましたか？

正直、彼女たちはまだファクトリーの将来に不安を抱いているのではないかと思います。まだまだ私たち経営チームが、彼女たちの期待に応えられないから。それでもあきらめずに、私たちを信じてついて来てくれる彼女たちに私は心から感謝をしています。心から嬉しいとともに心強いです。

自立を踏まえて、女性たちにはどのような変化がありましたか？

仕事に熱心に向き合い、困難に直面しても途中で簡単に諦めてしまう、ということが少なくなりました。また、お互いに声を掛けあったり、助け合う風土が生まれ、ファクトリー内の雰囲気がすごく良くなりました。ただここで安心せず、女性たちとコミュニケーションを取り続けることがすごく重要だと感じています。彼女たちの存在なしに、私たちのファクトリーは前に進むことはできません。だからこそ、お互いにしっかりと手を取り合って、前進んで行きたいと思っています。

青木.. 最初は相当みんなビックリして混乱が起きたよ。だから何度も話し合った。ファクトリーが目指したい世界はなんなかを話し合う「ホールプワークショップ」と名付けの日本に依存していたという事実を認めて、自分たちの力でどうやってビジネスとして成り立たせていくか、という考えに少しづつ変わってきた。「こんなブランドをつくりあげていきたい」「理想の組織はこうなんだ」とそれぞれの意志が生まれてきた。この前アンケートを採ったんだけど、従業員満足度が80%を超えていたんだ。これつてファクトリーを立ち上げた当初のことを考えるととても素晴らしい数字だと思う。

本木.. その團結力は青木くんが心からメンバーと向き合ったからこそその結果だね。あとはファクトリーにかける覚悟。その行動を間近で見てきたからこそ、だからこそかものはしとしてもインドに全力を注ぎこむ覚悟が今強くなっている。

青木.. いま自立していくにあたって、さまざまな動きを計画しているんだ。新しいブランド【SUSU(スースー)】も立ち上がりつつある。これはカンボジア語で「頑張れ！」と心から応援するときに使うあたたかいことばが、ブランドの語源になっている。世界に通用するブランドとして成長するよう頑張っていきたいといま強く思う。これまでの10年を振り返ると、貧困という状況によつ



(1) ファクトリーで働くみんなで、これからの決意を込めてSUSUポーズ。(2) 味の素株式会社の支援を受け、給食とともに栄養教育を提供している。良い食事習慣が良い仕事につながっていく。(3) SUSUの立ち上げにより、革素材も扱うようになり、女性たちにとても新たなチャレンジとなった。(4) SUSUの一品人気のトートバッグ。働く女性たちにも人気だ。(5) チームリーダー同士が共に学び、ファクトリーを成長させていくコミュニティーとなっている。

本木.. かものはしプロジェクトという大きな樹木があつて、そこからやりたいことを見つけて派生した新しい芽のような存在だと思う。そんな成功事例が増えると、社会は、世界はもっとよくすることができる。信じる道に向かって、健やかに成長していくみたいね。これからも一緒に頑張ろう。

村田.. 次の10年、どのように私たちは進化できるのか。でもこんな風に自分たちの歩みを誇れる道を進んでいきたいよね。



て自信を持てない方とたくさん出会った。でもファクトリーで働くことで、働くやりがいや誇りを身につけることで、自分の意見を伝えられるようになんか変わってきた。それはたとえトラフィックカー（少女を騙し売春宿に売り飛ばす者）にだまされそうな状態に陥ったとしても、自分の意志で断ることで、スキルを身につけて、目標とする仕事に就いた人も何人か生まってきた。自分たちでは『卒業』と呼んでいるんだけど、そんな人をもっと増やしたい。責任は大きいけど、仲間と一緒にどんどん育てていきたい。

ミコニティファクトリー経営

かものはしプロジェクトからの自立

農村に仕事をつくる、からものづくりを通じて女性たちの人生を応援する事業へ

「ここで仕事ができて嬉しい」
14人の女性たちとともに、コミュニティファクトリーの開所式が行われたのは2008年。就労機会の少ない農村で、最貧困家庭出身の女性たちへ雇用を作り出すこと。いぐさの商品を生産、販売し、その収益を給料として女性たちの家庭に還元する。このモデルを通じて、収入が不安定なために子どもが危険な出稼ぎにいく負の連鎖を断ち切りたい——。8年の歳月が経ち、私たちの事業は大きく成長を遂げました。2016年現在までに総勢約230人の女性に仕事を提供し、130人がここから巣立っていました。

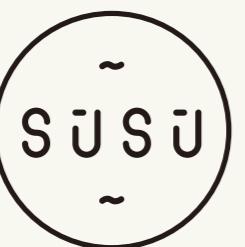
2015年、私たちは新たな決断をしました。ミッションの刷新、そしてかものはしからの自立です。転機は2015年2月。カンボジアにおける子どもが売られる問題は改善傾向にあるという調査見解、その問題解決を促した急速な経済発展とそれに伴う雇用機会の増

加。こうした社会環境の変化を前に、私たちは厳しく自問しました。「雇用創出という点で私たちが出せる価値は大きくなのではないのか」——。社会の課題ニーズに対し価値を最大に發揮する団体でありたい、という強い信念で議論を重ねました。

働く女性たちと対話を重ねることで分かってきたことは、企業に雇用されても新しい環境で頑張り続けることができずにすぐにやめてしまう問題があり、どうしても脆弱な環境を抜け出せないこと。もづくりを通じて人づくりをしてきた経験こそ社会に役立てていくべきものと認識しました。

こうして私たちは、「農村に雇用を創出し子どもが売られるリスクを軽減する事業」から、「ものづくりを通じて女性たちが生きる力を身につけ、次へ羽ばたいていける人材に育て上げる事業」へと進化させていこうと決断しました。「いい事業なのになぜ変化する必要があ

Community Factory



JOURNEY
FROM / TO
CAMBODIA

カンボジア・クチャ村から世界に通用するブランドを。

2016年2月、新たな挑戦が始まりました。

勇気を持って次の一步を踏み出そうとするときカンボジアでは、「SuSu!」(頑張って!)と声をかけあいます。カンボジアの女性たちとSUSUに出会った方の人生が輝きますように。そんな願いを込めて、新ブランドを"SUSU(スースー)"と名付けました。デザインを手かけたのはDesign for Asia Awardなど数々の賞を受賞しているNOSIGNER。カンボジア生まれのい草にレザーを素材に取り入れ、手作りのあたたかさの中にもスタイルッシュのあるアイテムができました。2016年2月、第一号店がシェムリアップに先行オープン。一日でも早く日本の皆さんにもお手にとってもらえるように努めています。



<http://susucambodia.com>



ミシンを前に笑顔の女性。困難な中でも日々笑顔で一歩ずつ前に進もうとする彼女たちに日々エネルギーをもらっている。

るのか」スタッフや女性たちからも混乱の声が上がりましたし、何より、子どもが売られない世界をつくる、という団体のミッションを超えた方針です。しかし私たちはカンボジア社会で、ひいては世界で、コミュニケーションで、コミュニティファクトリー事業が出来る影響力を活かして社会課題に取り組んでいきたいと考えています。2017年度を目処に自立することを決断した2015年、新しいブランド「SUSU」を立ち上げたこと、直営店を1店舗増やし合計4店舗になったこと、卒業生を輩出し始めたことが大きな一步となりました。

2009年から2015年までの6年間をかけて、現場警察官のトレーニング、警察官の評価の仕組みづくり、人身取引についての報告や相談ができる緊急電話(ホットライン)を継続的に運営できるための支援、高校生向けの人身取引についての学びの機会の提供などを実施しました。これらの活動のおかげで、性犯罪者を取り締まる能力は大幅に向上し、一定の成果を上げることができました。

活動の成果のまとめとして、2016年4月に「最終評価会議」を実施し、7州から人身取引特別警察のメンバーに参加していただきました。カンボジアでは性的な人身取引の問題はなくなってきたものの、今後も情報交換やモニタリングを積極的に行い、万が一の「問題の懸念」に迅速に対応できるよう引き続き注視していく

6年間のLEAP
プロジェクトが完了。
今後も内務省と連携し、問題を注視していきます。

警察支援

LEAP Project

Interview 02

「母と暮らす家を立て直すことができました。」



Thorn Kea

トン キアさん



2012年11月、ファクトリーに参加。2年間の織り工程担当を経て、その努力が認められ昇格、ミシン工程担当に。かわいらしい笑顔を見せながらもたくましく母を支える18歳。SUSU製作選抜チームメンバー、栄養トレーニングリーダーとしても活躍中。

働いてもうすぐ4年近くたちますね。ファクトリーで働いてみようと思った理由を聞かせてください。

これからのお給料は、非常にあります。安定したお給料は、貯蓄をはじめました。実はそのお金を使い、加えて貯蓄制度があるので、父を早くに亡くし、母と一緒に暮らしています。体が弱くない母を支えるため、小学校を途中でやめ日雇いの仕事をしていましたが、給料は安定せず日々の生活が大変でした。そんなときに村長さんに紹介いただき、ファクトリーと出会いました。

ファクトリーに来てよかったです。何ですか？

これからのお給料は、非常にあります。安定したお給料は、貯蓄をはじめました。実はそのお金を使い、加えて貯蓄制度があるので、父を早くに亡くし、母と一緒に暮らしています。体が弱くない母を支えるため、小学校を途中でやめ日雇いの仕事をしていましたが、給料は安定せず日々の生活が大変でした。そんなときに村長さんに紹介いただき、ファクトリーと出会いました。

これからのお給料は、非常にあります。安定したお給料は、貯蓄をはじめました。実はそのお金を使い、加えて貯蓄制度があるので、父を早くに亡くし、母と一緒に暮らしています。体が弱くない母を支えるため、小学校を途中でやめ日雇いの仕事をしていましたが、給料は安定せず日々の生活が大変でした。そんなときに村長さんに紹介いただき、ファクトリーと出会いました。

当面の目標はチームリーダーになること。そして将来はこの村で自分のお店を開いてみたいと思っています。簡単ではないと思いますが、夢のために頑張りたいです。

Interview 03

「難しくても、いつかは乗り越えられる。その自信が、いまの私の財産です。」



Pech Mab

ペック マップさん



ファクトリーで得たものは何ですか？

最初、私はいぐさを選別する担当を任されました。いぐさ一本一本がきれいな商品を作る上でとても大事なんだと気づいてから、仕事が面白くなりました。次にマツトをカッティングする工程を担当しました。いぐさは固いし、まっすぐ切るのは大変です。でも、周りの子も一生懸命やっているから、私もできると思つて頑張ることができました。少しずつですが、自分の仕事に対する自信が湧いてきたように思います。難しくても、いつかは乗り越えることができる。チャレンジするとの大事さを、ここで学ぶことができました。

現在の生活はどうですか？

訓練学校では、毎日勉強漬けの日々を過ごしています。特に英語は難しく、最初は全然自信がなかったのですが、先生や仲間の励ましや、ファクトリーで頑張ってきたことを思い出して、必死にやっています。ファクトリーに出会えたから、いまの私がいる。みんなのいい前例になるように、私が切り開いていきたいと思います。

Interview 01

「努力は、報われる。かものはしは、村に勇気を提供してくれた存在。」



Sein

セインさん

コミュニケーションファクトリー設立当初から応援してくださっているクチャコミューンの村長。75歳。



2009年のコミュニケーションファクトリー。村長が受け入れてくれたからいまのファクトリーがある。

たくさん女性が遊びを交換し、あつて、どんどん成長してほしいと思います。新しい商品も出して、ますますいろんな人が興味を持つてくれる嬉しいね。改めて、ファクトリーがここにきてくれて本当によかったです。多くの女性たちに素晴らしい機会を提供してくれてありがとうございます。

これからファクトリーへのメッセージを。

コミュニケーションファクトリーで働く女性、村長へのインタビュー。

Let's interview them!

In Community Factory



ファクトリーが始まったときのことを覚えていますか？

もちろん覚えています。私の家の一角を使って、14人の女性たちとはじめた小さな活動でしたね。その後ファクトリーが建って、そこから毎年人数が増えています。遠いところから頑張って自転車で通ってくる子たちもいて、その姿をとても微笑ましく、誇らしいなと思ったことを、今でもはつきりと覚えています。

ファクトリーができる前の村の様子で、特に大変だったことは何ですか？

土地がなかつたり牛や豚などの家畜がいなかつたりする家が多くつたので、今よりもっと貧しかつたです。学校へステップアップしましたよね。この村からそういう人がでたことがとても嬉しい、誇らしいことです。村を良くしていくためには一人ひとりの努力が大切だと思っています。だから、努力が報われるという経験を、ファクトリーの中だけじゃなくて、村の人みんなに共有してもらいたいと思っています。

に通うのも大変だった。通っている人もいたけれども、すぐやめてしまうことも多かったです。そしてたくさんの人がタイに出稼ぎにでていましたね。

ファクトリーが村に果たした役割は？

ただお給料をあげるのではなく、仕事を提供して、女性が頑張れる場所を作ったことがとても大きいと思っています。去年は6人の女性たちがこのファクトリーでの経験を土台に新しい場所へステップアップしましたよね。この村からそういう人がでたことがとても嬉しい、誇らしいことです。村を良くしていくためには一人ひとりの努力が大切だと思っています。だから、努力が報われるという経験を、ファクトリーの中だけじゃなくて、村の人みんなに共有してもらいたいと思っています。



Kamonohashi in **India** 2015-2016

インド事業部

2020年を目指して。インドでの人身売買ビジネスの
根幹を壊す動きが、加速しています。



Written by

森と温泉が好き

清水 友美 Tomomi Shimizu
インド事業部シニアプログラムマネジャー

2年間のインド駐在を経て、2013年7月からかものはし日本事務所勤務。大学院修士課程修了後、国際機関や人道支援機関で開発援助事業に携わる。

かものはしが印度で行っているプロジェクト

項目	プロジェクト名	パートナー団体	年度予算(万円)				
			2014	2015	2016(予定)	合計	比率
連携促進	Tafteesh 被害者の権利と正義を取り戻す仕組みづくり	レスキューファンデーション / サンショグ / GGBK	617	1,221	2,160	3,998	76%
	Coordination Model Development 人身売買撲滅のための政府諸機関・NGO連携促進モデルの開発	STCI	136	192	504	832	
	Child Guidance Clinic Model 保護施設と行政の連携促進モデルの開発	アンガントラスト	0	22	720	742	
モデル開発	Dance Movement Therapy (DMT) 被害者の心理回復モデル	コルカタシャンプド	85	132	360	557	16%
	Kaarya 農村部での被害者の心のケア及び経済的自立支援モデルの開発	サンショグ / GGBK	360	230	Tafteesh に統合	590	
その他	Sanjog Institutional Support 成長性が極めて高いサンジョグに対する組織支援	サンジョグ	140	31	450	621	8%
	Thought Coalition 支援者(財団)間協調	ハミングバード財団 / ポールハミング財団	0	0	0	0	0%
※1インドルピー=1.8円で計算			合計	1,338	1,828	4,194	7,360

これまで練習してきた内容をもとに、社会キャンペーン前に一致団結するNGOスタッフとサバイバーたち。
地域の人たちに人身売買問題を理解してもらいたい、そんな思いで社会キャンペーンに臨む。

Restore smiles
through dance!



〔上〕伸縮性の高い布を思いっきりひっぱり
あい、自分の手からすり抜けそうになる感覚
や、布の表面を触った時の感触を味わう。
〔下〕DMTセッションで体を動かした後、自
分の心に浮かんできた心象風景をこんなふ
うに絵や色で表現したりする。

私は知っている。彼女たちがこんなふうに自分を取り戻し、自分を肯定し、自分の過去に起きたことをちゃんと真正面から捉えて次に進めたのは、DMTをずっと実践してきたからだ。コルカタシャンプドの代表のソヒニーが、決して諦めずに、彼女たちの手を握り続けた。ある日、悟った。自分は捨てられたんだって。だから過去の自分を全部捨てるために、名前も宗教も全部変えた。」

夢を語れるように、 すべてのサバイバーに DMTを届けたい

でも、その効果を他の人に理解してもらるのは難しかった。ダンスのようなアートを使つたセラピーがどれだけ被害者的心の回復に寄与しているのか、誰しもが半信半疑だった。だからかも

行く必要はないと両親に行かせてもらえなかつた。どうしても行つてみたかったから家を出た。そしたら被害にあった。保護され、シェルターでお母さんたちが迎えに来てくれるのをずっと待つた。でも、迎えに来てくれたなかつた。ある日、悟つた。自分は捨てられたんだって。だから過去の自分を全部捨てるために、名前も宗教も全部変えた。」

り続けながらDMTを実践し、彼女たちがセラピストになり、生計手段としてDMTを実践できる機会を作つてきた。セラピストたちの多くは、過去にさまざまな傷を負つた人たちが多い。さまざまな暴力をかいくぐり、なんとか生きながらえてきたサバイバー集団だ。その彼女たちの生き生きとした姿を見たとき、かものはははDMTの効果を直感的に感じた。

2015年10月のインド出張のとき、コルカタシャンプドのオフィスに立ち寄つた。Dance Movement Therapy(身体と心が深く結びついていることに注目し、身体に働きかけることで、被害者の心の傷を癒し、回復していくことを狙いとしたプログラム、以下DMT)を実践しているスタッフと対話をするためだ。部屋で待つ

2015年10月のインド出張のときに、コルカタシャンプドのオフィスに立ち寄つた。Dance Movement Therapy(身体と心が深く結びついていることに注目し、身体に働きかけることで、被害者の心の傷を癒し、回復していくことを狙いとしたプログラム、以下DMT)を実践しているスタッフと対話をするためだ。部屋で待つ



西ベンガル州のシェルターで、サバイバーとともにスタッフの合同DMTセッション。つないだ手から様々な想いが伝わってきて、心が苦しくなった。

column パートナーからの声

「サバイバーの強さを一緒に信じていきたい」

コルカタシャンプド代表
Sohini Chakraborty
ソヒニー・チャクラボルティ氏

かものはは印度で多様なパートナー団体と事業を行っていますが、「サバイバーの本来持つ強さを信じ、彼女たち自身の声を大きくしていくことを大切にする」価値観が、コルカタシャンプドと共に共通しています。これには時間がかかりますが、長い目で見ると問題解決に大きな変化をもたらします。昨年度かものははしと実施したDMTの効果測定事業を通じて、サバイバーの心理回復におけるDMTの高い効果を多くの人に伝えられたことは、私たちにとってだけでなく、リハビリセクター全体にとって非常に価値のある成果でした。なぜなら、効果測定の実施によって、本当に質の高いリハビリサービスが提供されることの重要性も、広く理解されるようになったからです。



コルカタシャンプドのスタッフと将来のビジョンについて意見交換。



「自分」を取り戻した者たちの美しさは、見ているものを見つさせる。

©Natsuki Yasuda

Dance Movement Therapy(DMT)

被害者の心理回復モデル

モデル開発 パートナー団体:コルカタシャンプド

ていると、スタッフでありDMTのセラピストであるサビタが入ってきた。彼女は満面の笑みで、弾きなかつた。何の言葉もまだ交わしていないのに。彼女はただ部屋に入ってきただけなのに。彼女と

はもうかれこれ3年以上の付き合いだ。彼女がこんなにも自信に満ち溢れ、ポジティブなオーラを身にまとめるようになるまでに、どうぞどの茨の道を歩んできたのだろう。暗くて辛くて、壊れそうになる瞬間の積み重ねだっただら、涙が止まらなかつた。2年前に一度だけ、彼女の過去の話を聞いたことがある。「私は学校に行きたかった。でも、女の子だから

ダンスを通して、
被害者が自分の人生を
取り戻していく。

Written by 清水 友美

2015年10月のインド出張のとき

に、コルカタシャンプドのオフィスに立ち寄つた。Dance Movement Therapy(身体と心が深く結びついていることに注目し、身

体に働きかけることで、被害者の心の傷を癒し、回復していくこと

を狙いとしたプログラム、以下DMT)を実践しているスタッフ

と対話をするためだ。部屋で待つ



サバイバーとその家族と対話するかものはしスタッフ。

Tafteeshのロゴ。対話を通じて「子どもが売られない世界をつくる」という意味を込めている。

上がってくるシステムの欠陥を是正することをそれぞれの関係機関に働きかけるとともに、州をまたぐ連携を作りだす努力をしてきました。目標は2020年までにこれらの仕組化を通じてインドで「子どもが売られる問題」をなくすこと。2015年度に始まった新法制定の動きをしっかりと押さえ着実に問題解決に近づいていきます。

Topic インドでの新法成立なるか?

法律そのものを変えることで、 トラフィッカーを取り締まる社会へ。

2015年度、私たちはサバイバー58人の事件1件1件を丁寧に調べ、弁護士とともに、警察・裁判所に適切な捜査・裁判がなされるよう働きかけてきました。しかし、捕まったのはたった一人のトラフィッカーだけ。その彼も、逮捕されたもののすぐに保釈され、サバイバーとそのお父さんを執拗に脅迫しています。一人の被害者を売り飛ばすのにトラフィッカーが2~3人関わります。したがって58人のケースには、少なくとも100人のトラフィッカーがいることになります。そのうち逮捕されたのはたった一人だけ。法律に基づき捜査をしてくれるよう、どんなに熱心に現場で警察に働きかけても、状況は変わらない。現場の重苦しさを痛感しました。

一方、2015年秋頃から、インド中央政府において、「人身売買根絶」に向けた新しい法律と政策をつくろうという動きが始まり2016年5月30日に草案が発表になりました。この動きが実現すれば、これまで州を横断して取り締まることのできなかったトラフィッカーを取り締まることができ、人身売買というビジネスモデル自体を根絶させることができます。この動きは2000年代からNGOが積み重ねてきた動きの成果とも言えるもの。かものはしと現地のパートナーNGOは新しい法律・政策がより効果的になるよう、中央政府審議会に活発に参加し、動きを加速させています。2020年にインドでの「人身売買根絶」を達成することができれば、次は隣接する国であるバングラデシュへ。ここで得られた経験を武器に、さらなる挑戦を考えています。



(上)タフティーシュ四半期ミーティングに出席している本木、清水。(下)本当に問題解決が進むような新法にするためには、様々な人たちの結束が大切。タフティーシュメンバーとのワークショップの様子。

毎四半期、タフティーシュメンバー全員で集まる。自分たちの働きかけによってシステムがどう変化しているのか、変化していないのかレビューをし、次の四半期の働きかけ方について意見交換する。

System building with survivors

PROJECT 02

Tafteesh

子どもが売られない社会の仕組みをつくる

モデル開発

パートナー団体:レスキューファンデーション / サンショグ / GGBK

取り締まられる
ことのなかつた
トラフィッカーが適切に
逮捕・裁判されるために
Tafteesh(タフティーシュ)とは
は被害者が正義・権利を取り戻すために、インド政府とともに捜査・裁判や被害者を支援する仕組みを改善していく事業です。この事業は、2013年から開始され、現地のNGO、サバイバー(人身売買被害者)とかものはし

2020年を目指とした
人身売買ビジネス撲滅
のためのシステム構築。
インドにおける人身売買が解
決されない大きな理由は、加害者が罰せられずに「野放し」になつていること。その理由として、連邦制度のため州政府同士の連携が困難であり、農村で子どもや女性を買い付ける西ベンガル州の「トラフィッカー」を、春宿がある別の州、マハラーシュトラ州の警察が取り締まることが挙げられます。警察、裁判は難しく、これまで適切に処罰されることはほとんどなかったことがあります。警察、裁判所、被害者を保護するシェルタ―といったそれぞれの機関は存在していますが、それぞれが法則った適切な対応を、システムとして自動的に実施できないために、被害者の正義や権利を守る仕組みが整っていません。かものはしは、現場のひとりひとりのサバイバーのケースから浮かび

が共同運営してきました。この事業の2015年度のもつと大きな成果は、声を上げることでできなかつたサバイバーたちが立ち上がり、政府に働きかけをする人たちが出でたことです。



Thought Coalition

支援者(財団)間協調



支援団体間で、それぞれが人身売買問題解決に向けてどんな考えを持っているのか協議している様子。

**支援者同士による
人身売買問題解決に向けた
共有ビジョン作り**

2015年10月にイギリスのハミングバード財団、ポールハムリン財団とかものはしの共催で、印度で反人身売買の活動をしている財団等支援関係者計16団体を集め、「Thought Coalition（支援者（財団）間協調）」を結成し、デリーで第1回目の意見交換会を行いました。現地NGOの活動を資金面で大きく支えていた支援団体の意見は、現地NGOの活動に影響力を持つて

Kaarya

農村部での被害者の心のケアおよび
経済的自立支援モデルの開発

モデル開発 パートナー団体:サンジョグ / GGBK



西ベンガル州南24区でサバイバーグループが社会活動キャンペーン実施前に結束する。

**自らの正義を勝ち取るため、
サバイバー自身が立ち上がった**

2013年よりかものはしが西ベンガル州南24区で実施してきた心理回復支援やマイクロビジネス支援に加え、今年度は受益者の中から、「正義を勝ち取りたい」「地域社会にこの問題を理解してもらいたい」と声を上げ始めたサバイバーを中心に、サバイバーグループを形成しました。サバイバーの出身地域では、人身売買犯罪が、出稼ぎなどの形でカモフラージュされているため

2015年10月にイギリスのハミングバード財団、ポールハムリン財団とかものはしの共催で、印度で反人身売買の活動をしている財団等支援関係者計16団体を集め、「Thought Coalition（支援者（財団）間協調）」を結成し、デリーで第1回目の意見交換会を行いました。現地NGOの活動を資金面で大きく支えていた支援団体の意見は、現地NGOの活動に影響力を持つて

いるため、良くも悪くも問題解決を大きく左右します。そのため、支援団体同士が、こうして互いの問題認識やビジョンを共有できる協力体制を築くことは、重要な意味を持っているとかものはしは考えています。当日は問題解決のために確実に実現させたいことは何か?「などのテーマを設け、それぞれが行っている活動の強みや課題などに基づき、今後どのようにお互い協力し合っていくことでインドの問題解決を効果的に進められるかに

Child Guidance Clinic Model

保護施設と行政の連携促進モデルの開発

連携促進 パートナー団体:アンガントラスト



保護シェルターでコーディネーターが被害者の状況把握をするためにオリエンテーションをしている様子。

**被害者の回復にむけて、
一貫したりハビリテーション
が必要**

売春宿から救出された18歳以下の子どもたちは自宅に戻るまで一時的に保護シェルター（保護施設）に滞在し、子どもも福祉局の判断に基づき、その後それぞれの出身地域に戻っていくのが通常の保護活動の流れです。シェルターは、子ども一人ひとりに配慮したりハビリテーション計画の作成が法律で義務付けられており、出身地域に戻った後も、その計画に基づいた継続的なリハビ

リテーションが提供されるべきなのですが、インドのシェルターや子どもも福祉局の多くは、日々入れ替わる子どもたちが多いこともあり、一人ひとりに対して定期的に必要なケアを十分に提供できないのが現状です。そこでかものはしが、長年多くのシェルターで子どもたちに対するリハビリテーション活動の提供や、シェルターの環境改善に関する活動実績を有するアンガントラストと共に、救出された子どもをケアする仕組みの改善プロジェクトを2016年2月より開始しました。具体的には現

に、「人身売買」として認知されることは難しく、サバイバーが救出されて村に戻った後、性産業に携わったことを理由に地域住民からひどい差別を受けたり、被害についての訴えを取り下げるよう加害者から脅迫を受けたりします。そのため、このグループは村レベルで人身売買の問題を理解してもらうため、警察や村の行政機関を訪問したり社会活動キヤンペーンを行うなど、サバイバー自身が主体者として問題解決に取り組むことを目指しています。また、これまでのサバイバー心理回復支援・ビジネス支援

について、活発に意見が飛び交います。「2020年までに人身売買の問題解決のために確実に実現させたいことは何か?」などのテーマを設け、それぞれが行っている活動の強みや課題などに基づき、今後どのようにお互い協力を設け、それぞれが行っている活動の強みや課題などに基づき、今後どのようにお互い協力を

Coordination Model Development

人身売買撲滅のための政府諸機関・NGO連携促進モデルの開発

モデル開発 パートナー団体:STCI



一緒にモデル開発を進めているメンバーとの集合写真。

抑止力・異なる政府関係者とNGOが横の連携を作りだすには

2014年1月よりかものはしがインドのパートナー団体であるSave the Children India（STCI）と、政府各機関（警察、検察官、裁判官、シェルター（保護施設）及びNGOの連携構築モデルの開発を進め、既に行政や司法機関といった既存の組織や仕組みが、人身売買の問題解決に効果的に働くために現状の問題を同じ目線で共有し、連携の必要性を各機関が

認識することが重要です。しかしながら、印度では縦割り行政が常であり、同じ被害者にサービスを提供する組織間でも連携は希薄です。そこで、マハラシュトラ州のナグプール県でこの連携構築モデル事業を実施し、関係諸機関の調整会議を毎月定期的に実施しました。具体的な事例を月例会議で取り上げ、その事例が抱えている問題点を解決するために各機関がどう協働できるかを話し合ってきました。その結果、メリットが認識され、それを繰り返すことで連携を仕組化することができました。その成果と

認識する必要があります。しかし、印度では縦割り行政が常であり、同じ被害者にサービスを提供する組織間でも連携は希薄です。そこで、マハラシュトラ州のナグプール県でこの連携構築モデル事業を実施し、関係諸機関の調整会議を毎月定期的に実施しました。具体的な事例を月例会議で取り上げ、その事例が抱えている問題点を解決するために各機関がどう協働できるかを話し合ってきました。その結果、メリットが認識され、それを繰り返すことによって連携を仕組化することができました。その成果と

2015年度は

2015年度は、過去最高額の
1億7千万円の資金を集める
ことができました。

サポート会員は前年度より
618人増えて、3829人の方々
にかものはしの活動を支えていた
きました。

皆さまお一人おひとりのあたたかいご支援が、
カンボジアとインドの活動を支えています。
心より感謝を申し上げます。



2016年度は

新しい資金調達にも挑戦し、こ
れまで以上に問題解決のスピー
ドを上げていきます。

2016年度は1億3千万円を
目標に資金調達を行い、カンボジ
アとインドの問題解決のためにこ
れまで以上に努力することを目指
します。また、543人に新しくサポー
ター会員になっていたただ
くことを目指します。

現地での問題解決のスピードを
上げるために、新しい資金調達に
取り組むことに挑戦しています。
具体的には、海外の財団などから
の資金調達をこれまで以上に強化
していく。インドで活動してい
る海外の財団との情報共有やコ
ミュニケーションの強化だけな
く、実際に海外の団体への助成金の
応募も始めています。

もうひとつは、かものはしのこ
とをご存知ない方にも気軽に参加
していただくために、クラウドファ
ンディング（インターネット上での
資金調達）の実施を始めました。

2016年5月から7月まで、カ
ンボジアのコミュニティファクト
リーで新しく立ち上がったプラン
ド「SUSU」の商品開発のクラウ

3月に入職しました!



Written by
后藤 愛美 Manami Goto
広報・ファンディング担当

途上国の厳しい生活環境に衝撃を受けると同時に、子どもたちの純粋さや懸命に生きる姿に感銘を受け、真正面から向き合うことを決意。企業勤務を経て、2016年3月からかものはしに参画。

また「子どもが売られる問題」
をもっと多くの方に知っています。
これを目的とし、講演会などで
お話をさせていただくス皮ーカーを
これまで以上に強化し、複数人体
制での運営を目指します。新しい
スタッフも入職し、皆さまにお話で
きる機会を持つように準備して
います。講演会の機会があれば、お
気軽にお声がけください！

ドファンディングにも挑戦していま
す。カンボジアの最貧困層の女性た
ちが「SUSU」の新しい商品を作
るための商品開発費やトレーニン
グ費に充てさせていただくための
挑戦ですので、応援いただければ
幸いです。

私たちが窓口を
担当しています!
Message from
Kamonohashi staff

「サポーター会員の皆さまの声が励みになっています。」

いつもあたたかいご支援をありがとうございます。私たちは日々、ミッションに賛同してくださる新しいサポーターの方々のお申込みや、継続してサポートしてくださっている方々のお問い合わせの窓口をしています。直接サポーター会員の皆さんとお会いする機会が少なく、コミュニケーションはお電話もしくはメールとなります。日頃のコミュニケーションの中で、活動についてご意見をいただくことが日々のかものはしの活力となっています。また、「活動を応援しております!」「一人でも多くの子どもを救ってください!」といった激励の言葉をいただけると、とても励みになります。本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

サッカー大好き!

辻 桂子 Keiko Tsuji
会員オペレーション担当

大学で開発経済学のゼミを専攻し、タイで国際ボランティアを経験したことで国際協力の道に興味を持ち始め。一般企業で働いた後、現在は事務局全般を担う職員として働く。



二児の母!

野溝 明子 Akiko Nomizo
会員オペレーション担当

父の駐在でタイとケニアで幼少時代を過ごす。貧困による子どもの問題を解決すべく、企業勤務を経て、2010年2月よりかものはしプロジェクトに参画。

かものはし5年目!



Written by
小畠 瑞代 Mizuyo Kobatake
広報・ファンディングマネジャー

かものはしの「この問題は必ず解決できる」という信念に共
感し、子どもがだまされて売られてしまう問題を世の中に広く
理解してもらうため、2012年7月よりかものはしに参画。

その結果、カンボジアからインド
への経営資源のシフト、新たな取り
組みであるWEBのリニューアル
や講演会などでスピーカーの拡
充、人材育成の強化やガバナンスへ
の取り組み等にも挑戦することが
できました。

改めて、ご支援いただき誠にあ
りがとうございました。

団体内では、カンボジア・インド
の活動を支えるための経営基盤強
化として、中期経営計画の策定に
取り組みました。「子どもが売られ
ない世界」を実現するために、何が
経営基盤として必要なのかを改め
て見直すことができました。

また、例年通り多くのボランティ
アの皆さんにもご協力いただきました。
本当にありがとうございました。
サポート会員は前年度より
618人増えて、3829人の方々
にかものはしの活動を支えていた
きました。

2015年度は

2015年度は、過去最高額の
1億7千万円の資金を集める
ことができました。

サポート会員は前年度より
618人増えて、3829人の方々
にかものはしの活動を支えていた
きました。

カンボジアで女性たちが
作つた草製品を
売つたりもします!



KAMO COMMUNITY

皆さまがお気軽にご参加いただけるコミュニティをご紹介!

社会人ボランティアコミュニティ

Kamo cafe かもカフェ!

かもカフェ!は、現在、約800人のボランティアメンバーが登録してくださっており、仕事後の時間や休日を使って、かものはしの活動をそれぞれのできる方法で支援しています。

毎月水曜日 or 土曜日開催。

ボランティアデイ



楽しく交流しながらかものはしについて理解できます。ぜひ気軽に参加してください!

かもカフェに参加されたい方、
お問い合わせはこちら!

かもカフェ!は、かものはしスタッフからのさまざまなリクエストに応じて活動しています。ボランティアデイもそんな活動の1つです。ボランティアデイでは、月に1回ボランティアの方々が集まって、比較的簡単な事務作業をスタッフの方の代わりに実施するという形の支援活動です。いつも集まつた方々でおしゃべりしながら、皆さんと楽しく作業しています。



加藤 政樹 かもカフェ!リーダー

普段はITコンサルタントとして右往左往している38歳。仕事の傍ら、かもカフェ!運営のリーダーを務める。

検索

<http://www.kamonohashi-project.net/support/knowledge/kamocafe.html>

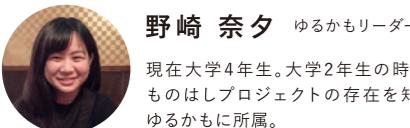
参加者は
学生だけでなく、
社会人の方も!

ゆるかもは、かものはしプロジェクトの活動理念に共感した学生が集まり、学生の立場でできる活動をする学生団体です。“気軽に楽しく国際協力”をモットーに活動しています。

料理教室やカンボジア訪問も! 選べる参加方法



参加してくださった方とともに国際協力や学生のボランティアについて語り合いました。



野崎 奈々 ゆるかもリーダー

現在大学4年生。大学2年生の時にかものはしプロジェクトの存在を知り、ゆるかもに所属。

ゆるかもに参加されたい方、
お問い合わせはこちら!

かものはし ゆるかも

検索

<http://www.kamonohashi-project.net/support/knowledge/yurukamo.html>

“HOW TO JOIN KAMONOHASHI ??”

イベントからコミュニティまで! かものはしの活動に参加する方法!

EVENTS

皆さまがお気軽にご参加いただけるイベントをピックアップ!

3月 懐かしいボランティアナンへ リアルかもカフェ

カフェにて自分の職種や趣味、特技などを共有しながら、かものはしのためにできることと一緒に探しましょう!

&

毎月 時間帯を選んで参加! 朝かも・昼かも・夜かも

カンボジア・インドの子どもが売られる問題について1時間じっくりお話しします。スタッフへ質問や参加者同士の意見交換の時間も設けていますので、より深く問題について知ることができます。



&

カンボジア コミュニティファクトリー 訪問

シェムリアップから車で45分。コミュニティファクトリーで働く農村女性の仕事風景を見学したり、女性のお家に訪問することもできます。カンボジアで元気に働く、女性たちの笑顔に会いに来ませんか?



8月 食べて応援 チャリティーBBQ

ぶどうのつるに囲まれた会場は涼しく快適! おしゃべりを楽しみつつ、みんなで和気あいあいとBBQを行いました。

4月 走って応援! PARACUP

PARACUPは、世界の子どもたちを支援することを目的に開催されるチャリティーマラソン大会です。ぽかぽかの春空の下、ランナー・ボランティアとして、気持ちのよい1日を過ごしませんか?



↓

10月 日本最大級の国際協力イベント グローバルフェスタ

カンボジアのコミュニティファクトリーで作った、い草製品を販売します。興味をお持ちの方、ぜひ一緒に活動してください!

↓

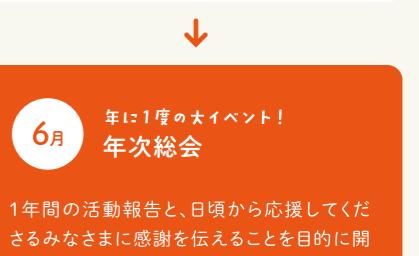
11月 高校生の熱い想い 『次世ノハシ』街頭募金

寄付や現地への訪問ではなく、高校生だからこそできること。凍える寒さの中、声をはりあげて問題を知った怒りや悲しみを道行く人に伝えました。多くの方が立ち寄り、募金に協力してくださいました。



4月 学生さんwelcome ゆるカフェ@大阪

ゆるカフェでは、子どもが売られる問題についての勉強会を行っています。お茶をしながら一緒に学び合いましょう!



6月 年に一度の大イベント! 年次総会

1年間の活動報告と、日頃から応援してくださるみなさまに感謝を伝えることを目的に開催しています。毎年100人以上の方が来られるため、当日前まで準備で大忙し! インターン、ボランティアの方々のおかげで、毎年とてもあたたかい会になっています。



皆さまの参加をお待ちしております!

イベントの詳細やお申し込みはWEBサイトをご確認ください!

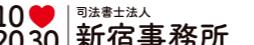
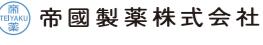
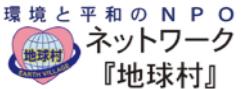
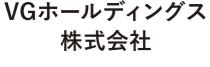
かものはし イベント

検索

<http://www.kamonohashi-project.net/eventinfo/>

アジアの子どもの
ために、一緒に
走りませんか?

かものはしを支えてくださった企業・団体の皆さん

 ICAP東短証券株式会社	 アサガミ株式会社	 Eat Well, Live Well. 味の素株式会社	 EBS BROKERTEC イービーエスディーリングリソーシス ジャパン株式会社
 MS & ADゆにぞんスマイルクラブ	 MFSインベストメント・マネジメント 株式会社	 外務省	 流通を創造ソリューション 加藤産業株式会社 Katoグリーンウッド基金
 JICA	 株式会社ジャクパ	 Johnson & Johnson FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会 Johnson & Johnson Contributions Committee	 10 2030 新宿事務所 司法書士法人
 帝國製薬株式会社	 なごみ診療所	 公益財団法人日本国際協力財団	 日本労働組合総連合会
 環境と平和のNPO ネットワーク 『地球村』	 The hummingbird foundation	 PARACUP 世界の子どもたちに贈るRUN	 People Focus Consulting 株式会社ビープルフォーカス・コンサルティング
 VGホールディングス 株式会社	 ASIA GROUP 不動産のアジアグループ		

ILBS国際福祉協会 / アースリードアテイン株式会社 / 税理士法人浅沼・平野合同事務所 / アサヒワンビルクラブ / 株式会社ARTS
 株式会社アトラス住販 / アネス株式会社 / 池永経営会計税理士法人 / 株式会社いぶき / 有限会社イマトクメディック / インフォテリア株式会社
 特定非営利活動法人 WE21ジャパン・さいわい / 株式会社エイチ・アイ・エス / 株式会社HRインスティテュート / S.TEC株式会社 / 有限会社エル・アリス
 株式会社エルローズ / 株式会社キット / 株式会社岐阜セラツク製造所 / キューピーグループマッチングギフト Qpeace
 有限会社居宅介護支援事業所愛101 / グンゼラブアース俱楽部 / 高徳院 / 国際ソロプロチミスト厚木 / 国際ソロプロチミスト東京・東
 税理士法人古田土会計 / 株式会社コダマ / 学生団体次世ノハシ / 株式会社ジョイメイト / 株式会社神長工業 / 新日鉄住金エンジニアリング株式会社
 新日本管財互助会 / 住友生命保険相互会社 / 株式会社セールスフォース・ドットコム / 世田谷聖母幼稚園 / センチュリー法律事務所
 有限会社ソーシャルベンチャーキャピタルソーシエーション / 有限会社ソルゾ / 株式会社タカソノ / 有限会社ツーワン設備工業 / 有限会社テニスピアジュエ
 天S 株式会社 / 東京ビジネスサービス株式会社 / 東京ロータリークラブ / 堂本製菓株式会社 / 株式会社東横イン / 株式会社ドクター・ソリューション
 株式会社トラストファーマシー / 中島ボリエチレン工業株式会社 / 株式会社永屋 / 株式会社日建設計 / 一般社団法人日本弱酸性美容協会
 日本電算機販売株式会社 / 日本リユースシステム株式会社 / ハウジングスカイ株式会社 / 浜野工業有限会社 / 株式会社美箔ワタナベ
 ヒューマンズ・ネット株式会社 / 医療法人福智会 / プラス株式会社 ジョインテックスカンパニー / 株式会社古木企画
 三井化学株式会社 三井化学チップツンコイン / 森屋建設株式会社 / 株式会社 やさしい手 さいたま南 / ヤマト微章株式会社 / 学生団体 ゆるかも
 横濱ロータリークラブ / リッシュモンジャパン株式会社 クロエ / 株式会社良品計画 / リンテクト・ジャパン株式会社 / 株式会社ローヤルエンジニアリング
 ロングブラックパートナーズ株式会社 / ワタベウェディング株式会社
 ※五十音順・敬称略 ※10万円以上のご支援をいただいている法人・団体の皆さんを掲載しております。

技術協力 ※五十音順・敬称略

Accountability For Change / アビームコンサルティング株式会社 / 英治出版株式会社 / 株式会社オウケイウェイヴ / 株式会社オールアウト / サイカンパニー
 株式会社ナーリングクリエイティブ / Nosigner / 株式会社バリューブックス / 株式会社ビープルフォーカスコンサルティング / 株式会社マルケト、NPO法人ENPOWER
 NPO法人 Make it Better / モリソン・フォースター外国法務弁護士事務所 / 学生団体 ゆるかも / 株式会社リクルートキャリア

皆さまからのメッセージ



倉木 麻衣さん

歌手
「なんとかしなきゃ!プロジェクト」
メンバー



三村 明夫さん

日本商工会議所 会頭
新日鐵住金株式会社 /
相談役名誉会長



堀江 裕美さん

スターバックスコーヒー
ジャパン株式会社 / 執行役員

2月にカンボジアを訪れた際訪問させていただいたかものはしプロジェクトさん。女性の自立を支援されている取り組みが地域に根付いている様子を拝見し、心から感銘を受けました。支援にも色々な形があると思うのですが、そこに住む人の笑顔に直接繋がり、長期的にあらゆる面からサポートしているこのプロジェクトは本当に素晴らしいと思いました。私も引き続き皆さんと一緒にさまざまな支援に寄り添っていけたらと思います。



坂之上 洋子さん

経営ストラテジスト
作家



安田 菜津紀さん

フォトジャーナリスト



山下 一啓さん

株式会社ハレノヒ
代表取締役社長

かものはしプロジェクトに初めて出会った時、救出した女の子の写真をみせてもらいました。その子の二の腕が娘と同じかたちをしていました。「何歳?」と聞いたら娘と同じ6歳でした。6歳で売春宿に売られるってどういうこと? そして現実を聞いて吐きそうになりました。暗闇で助けを待つ子どもたちが、一瞬でも早く一人でも多く救出されますように。心から応援しています。

年次報告書の制作に関わってくださった方々

コピーライティング、編集

株式会社ハレノヒさん

2014年設立。企業や大学、地域といったさまざまな領域において、プランディングや販売促進、企業ビジョン、行動指針の策定やネーミングなどの企画・制作を手がけている。

デザイン／制作ディレクション

サイカンパニーさん

NPO・NGO専門のデザイン会社として、2012年に設立。多くの団体のWEBサイトや冊子などのデザインを手がける。
<http://saicompany.jp>



かものはしのスタッフ

カンボジア事務所



FAD:財務・総務部門

Chheng Kimhorn / Chun Vet / Khiev Sopheap / Kuy Piseth / Thorn Thorth

S&M:セールスマーケティング部門

Bran Lek / Chhan Danet / Kin Borey / Kum Por / Mao Kamsoth
Mony Chendapich / Nget Saret / Nov Sokrey / Phon Channa
Som Koemsay / Vai Cham Roeun / Vo Sok / Yuri Yokoyama

Social Empowerment:ソーシャルエンパワメント部門

Kameyama Nanako / Khloeut Sochet / Khorn Dina / Kong Savorn
Se Bunly / Sor Chhein / Teng Samnang /

HR:人事部門

Ouk Onn / Sdoeung Sopheak

Production:生産管理部門

Chheang Saleap / Chran Heng / Kath Channa / Sok Touch / Sor Chhoy
Sot Sophan / Suon Sanh / Suong Vuthik / Van Savan / Vit Vanny
Voeurk Haun

現地インターン

Airi Hiyma / Bliss Coleman / Hiroe Sugawara / Miho Nakano / Miho Takano
Pei-Wei Yang / Sara Watanabe / Tatsuo Yamazaki / Yoshitaka Taniwaki
Yurie Goto

プロボノ

Luke Crane

日本事務所



共同代表

村田 早耶香 / 本木 恵介 / 青木 健太

インド

スタッフ: 清水 友美 / 福井 陽名 / 手嶋 三奈美 / 富田 晃子
インターン: 安藤 昭太 / Julie Faber / 成川 由倭 / 原 和也

日本CF商品販売

スタッフ: 外崎 恵子
インターン: 内山 祐 / 大竹 萌音 / 児島 弘樹 / 佐々木 由果 / 日野原 恵
渡邊 和彦 / 渡辺 麻友

2015年度のお礼とご報告

いつも当団体を様々な形で応援してくださり、誠にありがとうございました。おかげさまでカンボジアの子どもが売られる問題は、解決に向かっています。一方問題が深刻なインドはこれからが重要ですので、今後もぜひお力を貸し下さい。

村田 早耶香



2012年度に、インドでの活動を開始して4年がたちました。

多くのNGO・政府関係者とパートナーシップを広げ深め、また実際に500人以上の被害者に支援することができました。子どもが売られやしない社会を創るこに挑み続けています。多くの方々を支えて下さる皆様に感謝しています。

本木 恵介



2015年度もあたたかいご支援をいただき本当にありがとうございました。

カンボジアは日々経済が発展し、刻一刻と問題状況も変わっていますが、カンボジア社会に貢献し、女性の自立を支援し、ともに歩んでいくという思いは変わらず、今後も事業を続けていきたいと思います。応援よろしくお願ひいたします。

青木 健太



収入推移及び計画

「収入」は設立以来年度ごとに堅調に推移しており、2015年度は初めて2億円を超え、その結果カンボジア・インドの事業を資金面で支えることができた。2015年度の収入が好調だった理由は、大型のご支援をこれまで以上にいただけたこと、会員会費の決済スキームの変更により13ヶ月分の入金があったことが大きい。2016年度は2015年度が好調だったため横ばいの予算で検討しているが、2017年度は再び前年増を計画している。

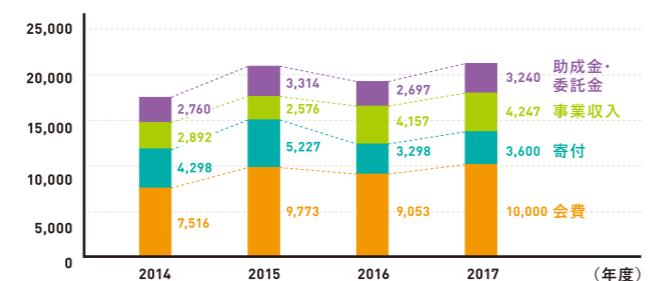
収入内訳

サポーター会員は順調に増加し、3,829名となった。2016年度の早期に4,000名に達成する見込み。2016年度以降も安定性の高い「会員会費」を伸ばしていくために、団体のWEBのリニューアルを実施する。また、カンボジアの新商品を通じたクラウドファンディング（インターネット上の資金調達）にも挑戦し、支援者の拡大を目指す。加えて、助成金・委託金にも注力し、日本だけでなく海外からの調達にも積極的に挑戦していく。

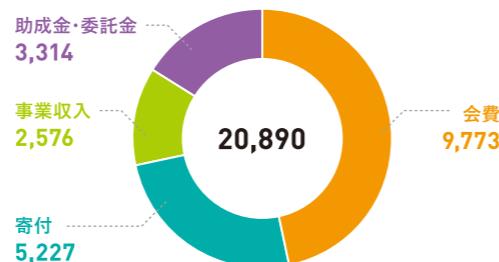
国別支出推移及び計画

カンボジアの自立化に伴い、カンボジアへの日本からの支出は減少する一方で、インドでの問題解決に向けた大幅な事業拡大に伴い、現地への投資額は増加する予定。また2017年度以降は、インドの事業の伸びに応じた、これまで以上の積極的な投資を検討している。2016年度は今後の問題解決の促進を実現するための支出計画に備え、経営基盤の強化等を継続して実施する。

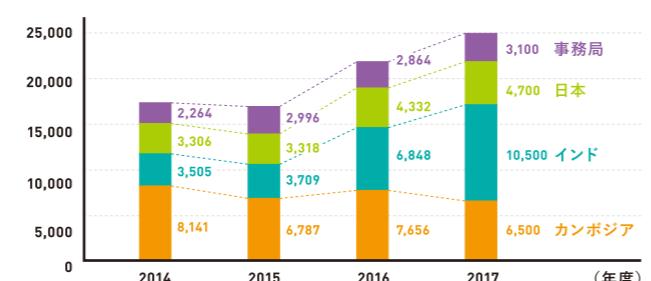
収入推移及び計画(単位:万円)



2015年度収入の内訳(単位:万円)



国別支出推移及び計画(単位:万円)



1.活動計算書

(単位:円)

科目	当初計画	実績	計画達成率	12期(2015年4月1日～2016年3月31日)	13期(2016年4月1日～2017年3月31日)
				計画	前年比増加(%)
経常収益	受取会費 正会員・賛助会員受取会費	84,836,000	97,727,500	115%	90,527,000 -7%
	受取寄付金 受取寄付金	24,480,000	52,269,145	214%	32,980,229 -37%
	受取助成金等 助成金収入	6,055,000	5,611,730	93%	12,013,820 114%
	受託事業収益 委託金収入	25,277,005	27,532,878	109%	14,954,280 -46%
	事業収益 コミュニティファクトリー事業収入	37,577,500	25,199,245	67%	39,910,724 58%
	事業収益 啓発事業収入	2,262,000	565,600	25%	1,662,000 194%
	その他収益 雑収入・為替差益	1,134,594	1,818,751	160%	907,600 -50%
経常収益 計	181,622,099	210,724,849	116%	192,955,653 -8%	
経常費用	事業費 コミュニティファクトリー事業	58,768,475	55,344,848	94%	64,830,588 17%
	事業費 カンボジア連携事業	2,523,110	587,503	23%	0 -100%
	事業費 インド事業	22,100,000	21,126,629	96%	43,185,000 104%
	事業費 啓発事業	43,059,892	33,175,178	77%	43,322,230 31%
	事業費 計	126,451,477	110,234,158	87%	151,337,818 37%
	管理費 カンボジア事務局	19,955,194	11,939,191	60%	11,729,467 -2%
	管理費 インド事務局	16,608,990	15,964,025	96%	25,298,810 58%
経常費用 計	日本事務局	27,082,943	29,961,963	111%	28,635,339 -4%
	管理費 計	63,647,127	57,865,179	91%	65,663,616 13%
	経常費用 計	190,098,604	168,099,337	88%	217,001,434 29%
当期経常増減額	-8,476,505	42,625,512		-24,045,782	
法人税、住民税及び事業税	70,000	72,355		70,000	
当期正味財産増減額	-8,546,505	42,553,157		-24,115,782	
前期繰越正味財産額	73,271,976	73,271,976		115,825,133	
次期繰越正味財産額	64,725,471	115,825,133		91,709,351	

2.貸借対照表(2016年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
		負債の部	正味財産の部
現金預金	84,783,267	未払金	5,968,916
売掛金	394,023	未払法人税、未払消費税	327,800
未収金	13,941,162	前受金	636,674
製品	15,827,937	預り金 職員に対する源泉所得税等	3,637,804
原材料	1,643,397	流動負債 計	10,571,194
仕掛品	570,348	負債の部 合計	10,571,194
前払費用	5,446,426	前期繰越正味財産額	73,271,976
流動資産 計	122,606,560	当期正味財産増減額	42,553,157
建物	2,098,477	正味財産の部 合計	115,825,133
固定資産 車両運搬具	393,358	負債及び正味財産の部 合計	126,396,327
工具器具備品	306,132		
投資その他の資産 差入保証金	991,800		
固定資産 計	3,789,767		
資産の部 合計	126,396,327		

監査報告書

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト 理事長 青木 健太 殿

私は、2015年4月1日から2016年3月31日までの第12期の貸借対照表及び活動計算書(「実績」部分に限る。)について監査を行いました結果、会計帳簿と一致し、法人の財産及び正味財産の増減の状況を正しく示していると認めます。

2016年5月27日 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト 監事



この年次報告書は、
サポートしてくださっている
印刷会社のご協力により
無償で印刷して
いただきました。

 子どもが売られない世界をつくる
認定NPO法人 **かものはしプロジェクト**

団体名	認定特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
住所	〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-23-5 長谷部第一ビル402
TEL	03-6277-2419
E-mail	info@kamonohashi-project.net
twitter	@kamonohashiprj
facebook	kamonohashi project／かものはしプロジェクト
Webサイト	http://www.kamonohashi-project.net/

※かものはしプロジェクトは、被害者のプライバシーと意思を尊重し、
被害者個人が特定される写真は使用いたしません。
また写真を使用する際は本人の許可をいただいております。